

令和1(2019)年度 事業報告書

社会福祉法人 甲賀学園

1. 評議員会・理事会の開催および役員等の業務執行状況

2018年度に出された『新しい養育ビジョン』に沿った運営へ向けて、施設の地域化・小規模化をより具体的に進めている。2019年度は、より家庭的な生活を送るためにハード面を整えるとともに、定員を45名から34名に減らしていく手続きを行った。また並行して、地域化へ向けて、具体的な生活場所の選定や新しい体制へ向けた職員体制や待遇を整えた。そのため、理事、監事、評議員の職員会議や施設行事への積極的参加を行い、後援会員とともに三重県の施設見学に行くなど、今後の方向性についてともに学ぶ機会を設けた。

(1) 評議員会の開催

開催数 開催年月日	評議員会ごとの出席者氏名			評議員欠席者氏名	議 題
	評議員数 /定数 氏名	理事	監事		
定時評議員会 2019. 6.21	5/7 中邨文男 望月文衛 金田眞宏 藤村淳子 植村恵子	河合定郎 谷口忠一 増山好子 森地 純 杉森 正 春田眞樹	廣岡茂樹 森地万里子	黒川昌明 倉橋恵子	① 平成30年度事業報告の件 ② 平成30年度決算の件 ③ 社会福祉充実計画の承認の件 ④ 理事及び監事の選任の件
第2回 2019. 12.10	7/7 中邨文男 望月文衛 藤村淳子 倉橋恵子 黒川昌明 金田眞宏 植村恵子	河合定郎 谷口忠一 井ノ口博己 春田眞樹	森地万里子 平井 博	無	① 令和1(2019)年度第一次補正予算の件 ② 高機能化、多機能化・機能転換に向けた目指す姿および年次計画の承認の件 ③ 児童養護施設鹿深の家定員変更の件
第3回 2020. 3.26	5/7 中邨文男 望月文衛 金田眞宏 藤村淳子 倉橋恵子	河合定郎 谷口忠一 井ノ口博己 増山好子 春田眞樹	森地万里子 平井 博	植村恵子 黒川昌明	① 2019年度第二次補正予算の件 ② 家庭的養育推進計画(詳細)の件 ③ 2020年度事業計画の件 ④ 2020年度当初予算の件

(2) 理事会の開催

開催数 開催年月日	出席者数/定数	欠席者 氏 名	出席監事 氏 名	議 題
	出席者名			
第1回 2019.6. 4	6/6 河合定郎 谷口忠一 増山好子 杉森 正 森地 純 春田真樹	無	森地万里子 廣岡茂樹	① 平成30年度事業報告の件 ② 平成30年度決算の件 ③ 就業規則変更の件 ④ 建物(屋根)の改修及び入札 実施の件 ⑤ 定時評議員会の件 ⑥ 社会福祉充実残高承認の件 ⑦ 理事・監事推薦の件
第2回 2019.6. 7	6/6 河合定郎 増山好子 杉森 正 谷口忠一 井ノ口博己 春田真樹	無	森地万里子 平井 博	① 理事長の選定について ② 施設長の選任について
第3回 2019. 9.25	5/6 河合定郎 杉森 正 谷口忠一 井ノ口博己 春田真樹	増山好子	森地万里子 平井 博	① 賃金規程の改定の件
第4回 2019. 12.10	4/6 河合定郎 谷口忠一 井ノ口博己 春田真樹	増山好子 杉森 正	森地万里子 平井 博	① 令和1(2019)年度第一次 補正予算の件 ② 高機能化、多機能化・機能 転換に向けた目指す姿及び 年次計画の承認の件 ③ 児童養護施設鹿深の家定員 変更の件 ④ みどりさん奨学金応募の件 ⑤ 第2回評議員会開催の件
第5回 2020. 3.3	6/6 河合定郎 増山好子 杉森 正 谷口忠一 井ノ口博己 春田真樹	無	森地万里子 平井 博	① 2019年度本部・施設・第二 鹿深の家会計の第二次補正 予算の編成の件 ② 家庭的養育推進計画(詳細) の件 ③ 2020年度事業計画の件 ④ 2020年度当初予算の件 ⑤ 2019年度第3回評議員会 の開催の件

				⑥定員変更に伴う管理規程変更の件 ⑦賃金規程の改定（年末年始手当）の件 ⑧みどりさん奨学生承認の件
--	--	--	--	---

(3) 施設外研修・施設内研修・職員会議への参加状況

社会福祉法の改正や社会的養護の現状、他法人の取り組み等を学ぶために、全国児童養護施設協議会が主催する研修に参加した。また、鹿深の家の職員会議に参加し、現場の状況の確認や施設内研修に参加した。

施設外研修

日付	研修会名	主催/大会テーマ	参加者
2019.11.27～29	第73回全国児童養護施設長研究協議会(徳島)	「新たな時代の社会的養護をきり拓く」 ～積み重ねてきた実践から養育の本質を考える～	金田評議員 宮川哲治

施設内研修

日付	講師/概要	参加者
2019.6.7	施設内研修 交通安全研修 講師：奥村順子 働き方改革 鹿深の家 Ver 講師：平野順久	金田評議員
2019.7.5	施設内研修 交通安全研修 講師：平野順久	河合理事長 森地監事
2019.12.6	施設内研修 措置費研修 講師：滋賀県・子ども青少年局 山下大樹様	河合理事長 谷口理事
2020.1.10	施設内研修 日本児童育成園見学訪問研修報告	河合理事長
2020.2.4	施設内研修 社会福祉法人 明照浄済会、社会福祉法人 有隣学院見学訪問研修報告	河合理事長 井ノ口理事
2020.2.25	法人・後援会役員研修会	河合理事長、

	里山学院（三重県津市） 施設見学及び小規模での生活、地域共生、地域貢献等に 関する講話	講師： 鍵山雅夫様 谷口理事 井ノ口理事 森地監事 平井監事 望月評議員 後援会役員 4 名 後援会員 4 名
--	---	---

職員会議への参加状況

職員会議実施日時	参加者名	
	主担当者	
4月12日（金） 10：00～12：00	河合理事長	
5月10日（月） 10：00～12：00	-	
6月7日（金） 10：00～12：00	金田評議員	
7月5日（金） 10：00～12：00	森地監事	河合理事長
9月6日（金） 10：00～12：00	河合理事長	
10月4日（金） 10：00～12：00	植村評議員	
11月1日（金） 10：00～12：00	倉橋評議員	
12月6日（金） 10：00～12：00	谷口理事	河合理事長
1月10日（金） 10：00～12：00	河合理事長	
2月1日（金） 10：00～12：00	井ノ口理事	河合理事長
3月6日（金） 10：00～11：00	新型コロナウイルス感染予防のため、招集せず	

- (4) 施設外行事・施設内行事等への参加、環境整備への協力等
 法人役員が入所児童や職員と行事を通じて交流を図った。

2019.11.3 鹿深の家まつり

（参加者：河合定郎、井ノ口博己、金田眞宏、森地万里子）

- (5) 監事監査の実施 2019年5月20日（月）

2. 後援会の開催
主な活動内容

事業内容	詳細
広報活動	<p>① 定期刊行物として鹿深の家だよりを発行 第102号 2019年10月3日 第103号 2020年3月1日 発行方法…ホームページ及び郵送、甲賀町配布</p> <p>② ホームページの運用 法令で定められた内容について公開 役員名簿、諸規程（定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程）、事業計画および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者評価</p>
地域交流	<p>鹿深まつり開催 2019年11月3日に開催 参加者総数306名（うち200名が地域や外部の方々） 開催テーマを「～Revs your heart～」と定め、今年度も子どもと大人が一体となり、舞台劇・ピアノ発表・和太鼓と取組み、地域の皆様や観客から大きな評価を得た。外部団体の協力として卒園生も活動しているよさこい演舞やアンファー株式会社様によるレクレーションを行っていただきました。また地域の方々や卒園生の協力を得て、まつりを盛大に開催できた。 地域に密着した運営を理解してもらういい機会となった。</p>
後援会組織	<p>一昨年より後援会活動の再編・充実等を図かり、後援会会則を改定し、活動を再開し、組織体制を確立した。 活動の再編に当たっては、卒園する子どもの現状を踏まえ、後援会として応援しているというメッセージを伝えるため、自立支援に重点をおいた活動を行う。 また役員の方には当施設の理解を深めてもらうため、他施設の見学会を実施したり、施設内の清掃ボランティアなどを進めている。 将来の建物の大規模改修に向けて、どのような形で支援の輪を広げていくのかということについて検討していくと共に、施設の現状を地域の方に知ってもらえる手立てを今後も検討していく。 後援会の広報についても甲賀町各字に協力を願い、入会依頼のお願いのパンフレットの各戸配布を行った。その成果もあり、後援会費は当初予算を大きく上回る金額を集めることができ、手ごたえを感じ取れた1年となった。</p>

3. 施設の運営

(1) 職員の状況

鹿深の家（2020年3月31日付）

職種	施設長	児童指導員 保育士	個別対応	F S W	栄養士	事務員	調理員等	計	里親支援	F S W	心理療法担当	小規模G ケア	特別指導	計
定数	1	9	1	1		1	4	17						
加算職員									1	1	1	4	1	8
【実数】	1	11	1	1		1	4	22	1	1	1	4	1	8
常勤	1	11	1	1		1	3	19	1	1(1)	1	2		5
非常勤		2					(1) 1	3				2	1	3

※（ ）の数字は産前産後休暇および育児休暇取得者。

※産前産後休暇および育児休暇取得者2名（鹿深の家2名）。うち1名は2020年度内に復職後、残り1名は育児休暇明けに療養のため、退職予定。

※年度中の正規職員の退職者 2名。

※休職者なし。

第二鹿深の家（2020年3月31日付）

職種	児童指導員 保育士	計
定数	2.5	2.5
【実数】	4	4
常勤	3	3
非常勤	1	1

(2) 総務課の状況

① 諸規程の整備状況

変更した規程	主な変更理由
就業規則	働き方改革に伴う有給休暇の扱いを変更
管理規程	児童養護施設鹿深の家の定員変更（45名→34名）
賃金規程の改定	宿直手当の見直し 10月の増税に合わせて、本俸の見直し 年末年始手当の施行

② 労務関係

従業員の労働環境改善に向けて

宿直専門員を新たに 1 名確保。

非常勤職員（宿直専門員）を常勤職員として雇用。

新規採用者として、調理師 1 名、児童指導員 1 名を採用。

③ 施設整備の状況

単位：円

事業名	実施予算	実支出額	備考
漏水工事（次年度も継続）	無	678,500	水道代が急激に上昇したことを受けて、急遽水漏れの検査の工事を清水コンテックに依頼する。その際、敷地内の水道の配管の詳細もわからないため、一緒に調べてもらっている。
食堂棟屋根改修工事		監理・設計費 187,000	岡村設計事務所による監理・設計費用。
		工事費 4,050,000	株式会社緩利による工事費。
		合計 4,237,000	

④ 将来構想の計画と推進

(ア) 家庭的養育推進計画の策定と計画の推進

平成 29 年 8 月に厚生労働省より発表のあった新しい社会的養育ビジョンに示された方向性のとおり、地域化、小規模化へ向けた計画を立案し、子ども・職員と共に共有した。

(イ) 建物設備の老朽化対策

平成 30 年度の台風により、雨漏れが見られた食堂棟については、改修工事を行った。

水道代が徐々に上がってきたことから、水漏れ調査を依頼したところ、数か所での水漏れが考えられると言われ、次年度に継続して修繕を行っていく。

(ウ) 情報管理の徹底と情報管理教育の推進

日常点検を徹底するとともに、その報告を毎日朝礼等で行い、常に意識化に置くことを徹底した。また、折に触れ、情報管理に関する話題等を提供し、さらなる意識向上に努めた。

(エ) 人材育成（職員が長く続けられる環境づくりの推進、児童の自立支援の推進）

職員自らが講師となり様々なテーマを設けて事業所内研修を複数回開催した。テーマを決めて、判別に県外の施設見学を行い、他所の状況を学ぶ機会等を設けた。また、退職者が出る中で、緊急対応チームと位置付けて、4 人のベテラン職員を担当ホームを持たないフリー職員として配置することで、技術の伝達、職員の技術の底上げを図った。

⑤ 広報啓発活動の実施

(ア) 甲賀学園後援会より「鹿深の家だより」の2回発行

102号(2019.10.3) 103号(2020.3.1)

(イ) 公式HPの公開(H26年6月1日) <http://kafuka-home.com/>

法令で定められた内容について公開

役員名簿、諸規程(定款、評議員選任・解任委員会運営細則、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程)、事業計画および事業報告、計算関係書類、現況報告、苦情解決、第三者評価

その他、法人の活動や施設の紹介等

求人情報の公開

(3) 自立支援課・食育課の状況

① 措置児童の年間推移(毎月月初の措置児童数)

月	員数		月	員数		月	員数		
2019.4	27	5	2019.8	27	5	2019.12	28	6	
5	27	5	9	28	6	2020.1	28	6	
6	26	5	10	28	6	2	28	6	
7	27	5	11	28	6	3	28	6	
	鹿深の家	第二	()内は措置停止児童数					330	67

② 2020年3月31日付の在籍状況

鹿深の家	2歳未満	就学前	小学生	中学生	高校生	自立支援	措置停止	計
男子	0	1	6	2	6	0	0	15
女子	0	1	6	1	5	0	0	13
合計	0	2	12	3	11	0	0	28
措置延長児童の状況			無					
高校生の状況(進路)			対象4名(男子2女子2)⇒進学3就職1(措置延長2)					
中学生の状況(進路)			対象1名(男子1)⇒公立1					
第二鹿深の家	2歳未満	就学前	小学生	中学生	高校生	自立支援	措置停止	計
男子	0	0	1	1	1	0	0	3
女子	0	0	1	1	1	0	0	3
合計	0	0	2	2	2	0	0	6
高校生の状況(進路)			対象1名(男子1)⇒就職1(措置延長)					

③ 2019 年度の入退所の状況

入所者数	内訳		備 考		
4	男子	2	1 名は第二鹿深の家		
	女子	2	1 名は第二鹿深の家		
退所者数	内訳		備 考		
2	男子	1	進学 1		
	女子	1	進学 1		
一時保護委託			備 考		
大津・高島子ども家庭相談センター			3 名（入所 3 名）		
中央子ども家庭相談センター			0 名		
彦根子ども家庭相談センター			0 名		
市町村			0 名		
一時保護打診					
大津・高島	3 ケース	中央	1 ケース	彦根	0 ケース
甲賀市	3 ケース				

④ 権利擁護の推進

- 権利擁護委員会による実地調査
2019 年 8 月 22 日に実施。
- 第三者評価委員会による実地調査結果
今年度は受審せず。次回 2020 年度受審予定。
- 第三者委員への報告
2019 年 10 月 2 日、2020 年 3 月 27 日に実施。
- 自主点検実施
2019 年 6 月、10 月、2020 年 2 月、3 月 計 4 回実施。
- 苦情解決の取り組み

苦情受付件数	主な内容とその結果
5 件	<p>○職員の対応について（3 件）</p> <p>○職員の業務の進め方について（2 件）</p> <p>※上記の内容については、2020 年 3 月 27 日に第三者委員に対して報告を行い、助言を頂いた。また、いずれの事例についても内部検証を行い、当事者への説明や謝罪を行い、再発防止に努めると共に職員の支援力の向上に向けて研修等の機会の充実を図った。</p>

⑤ 入所児童の安心・安全への取り組み

(ア) 事故防止に対する取り組み

春季、秋季、冬季の年 3 回（始業式後から約 1 ヶ月間）、小中学生が登校する時間帯に、職員を通学路に配置し見守り活動を行うと共に、自転車の乗り方に対する指導、安全教育等を行っ

た。

(イ) 環境整備作業

地元小佐治区や隣家、行政、後援会等の協力を得て、通学路周辺の草刈りや溝掃除、ゴミ拾い等を継続的に実施した。

(ウ) 性教育委員会の活動

施設内における共通言語作り（性行動のルール・境界線のルール）、アルバム作りや生い立ちの整理の推進、施設内の安全マップの周知徹底、入所時の「こころとからだの安心安全プログラム（児童相談所が実施）」の受講有無の確認など

(エ) 新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナ感染時対応マニュアル等を作成し、社会情勢、県・市町村の動きを見ながら、随時マニュアルを変更して対応。感染予防として、随時保健所とも連絡を取り合っており、園内での生活についての見直しを図って対応した。マニュアル等については別紙参照

4. 地域交流

(1) 鹿深まつり開催

2019年11月3日に開催

参加者総数306名（うち200名が地域や外部の方々）

開催テーマを「～Revs your heart～」と定め、今年度も子どもと大人が一体となり、舞台劇・ピアノ発表・和太鼓と取組み、地域の皆様や観客から大きな評価を得た。外部団体の協力として卒園生も活動しているよさこい演舞やアンファー株式会社様によるレクレーションを行っていただきました。また地域の方々や卒園生の協力を得て、まつりを盛大に開催できた。

地域に密着した運営を理解してもらったいい機会となった。

(2) 家庭支援事業

事業内容	件数	受入実人数	受入延べ日数	備考
一時預かり	6	1人	6日	
事業内容	件数	備考		
電話相談	3	甲賀市 甲賀市子育て政策課 甲賀市家庭相談室		電話での相談が甲賀市を通じて、3件問い合わせと依頼があったが、実施には至らず。

(3) 小佐治区との関わり

	内容
納涼祭(チーズドッグ、タピオカミルクティー)への出店	地元小佐治区の要請を受け、出店を出店し、地域交流を図った。

(4) ボランティアの受入

個人・企業・団体名	内容
甲賀町赤十字奉仕団	裁縫、施設内清掃、草刈りなど
湖南市たんぼぼの会	施設内の清掃

鹿布花ボランティアクラブ	花壇作り、環境整備
天理教ひのきしん	施設内の清掃
甲賀町民生委員児童委員協議会	梅林手入れ、環境整備
カットボランティア	入所児童のカットやスタイリング
あまりあさん	クリスマスミニコンサート
湖南省ボランティアセンター	ゴーヤカーテンを作るプロジェクト
甲賀学園後援会	環境整備、ジャム作り
大和リース株式会社	クリスマスイベント
学生ボランティア	ホーム内ケア補助
個人ボランティア	同上

(5) その他交流事業

企業・団体名	内容
有限会社みなと薬品	沖縄県の石嶺児童園の児童と外出、食事(8月) 8月に対応した児童を沖縄への招待を受ける予定であったが、新型コロナウイルスの影響のため、中止。
パナソニック ホームズ滋賀株式会社	流しそうめんとスポーツレク
フィリップモリスジャパン株式会社	施設内の環境整備
ショット日本労働組合	餅つき及びレクレーションの実施
アンファー株式会社	社員研修の受入・鹿深まつりの運営への協力、会社訪問
大原薬品工業株式会社	本社工場内で交流行事
江口グループ	納涼祭イベントを開催
子ども未来プロジェクト	ロケット制作
ワコール流通株式会社	工場内見学
CFR びわこ	児童虐待防止啓発活動(マラソンイベント)共同参加
株式会社リクルート	会社訪問、自己啓発セミナー

(6) 社会貢献

2019年12月2日(月)社会福祉法人主催のセミナーを初めて開催した。

今回、社会福祉法人 甲賀学園 主催「鹿深の家セミナー2019」と銘打ち、法人主催のセミナーを計画し、テーマを「児童養護施設において子ども間で生じる性的な問題について」とし、滋賀県だけでなく、近隣府県の児童福祉関係者に案内を出した。児童養護施設 一宮学園 副施設長 山口 修平 先生を招き、講演をして頂いた。その後、滋賀県の施設職員を交えてシンポジウムを行った。

今後も「鹿深の家セミナー」については、継続して開催を考えている。

参加者 51名(定員50名)

